

グループ討議 課題

テーマ：機関リポジトリ広報活動の効率化
・定型化

グループ名 [1C]

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会



課題

研究者に機関リポジトリを認知し、
活用してもらうために広報活動は必須！！

- 説明会の開催
- ポスター・パンフレットの作成, etc.

...でも実際に、一から実施するのは大変！

- 兼務しているため広報まで手が回らない
- 人員不足
- 前例がないので何をすればいいかわからない

具体的解決策

機関リポジトリの広報に役立つツールの共有

- 説明会用スライド、ポスター、パンフレット等のテンプレート
- 広報に役立つ事例集・効果的な文言集
 - オープンアクセス・オープンサイエンスに関する情報提供、再利用可能な図解説明、インセンティブのシステムなども含む
- 研究者に対する学術雑誌の登録依頼法
 - メール、チラシ、対面、説明会などで効果のあった方法を共有
- これらのフィードバックと改善の仕組みの構築
 - 各機関の成功事例を収集・蓄積して共有

(イメージ)

〇〇大学機関リポジトリ

□ □ □に論文をご提供ください！

□ □ □に登録すると・・・

視認性向上

- ・自分の研究について世界に広く情報を発信！
- ・引用される可能性も高くなります！
- ・共同研究の相手を見つけられる可能性も

機関による長期的保存

- ・バックアップツール、論文の管理ツールとしてご利用ください！

□ □ □の登録は面倒じゃない？

- ・具体的な登録法は以下の3ステップ！
 1. 本文の提供→2. 〇〇→3. 〇〇→4. 登録完了！
- ・担当スタッフが登録に関する疑問点はフォローします！

...

デザインや色の変更が容易で、機関名を変えるだけで利用できるフォーマットを検討する

各機関のカスタマイズ用にキャッチーなフレーズ集があると便利

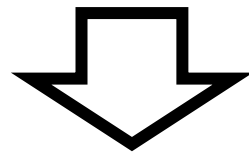
例：

- ・メリットのアピールで使えるフレーズ
- ・協力的な姿勢をアピールするのに使えるフレーズ

汎用的かつ研究者に響くリポジトリ登録のメリットをアピールする

その理由・期待される効果

- 忙しい担当者やこれまでに広報の経験のない担当者でも広報活動に取り組みやすくなる
- 各機関の優れた取り組みが蓄積・共有される
- 広報にかかる時間を研究者への個別対応や他の業務に割くことができる



- かける時間や手間を最小限にして機関リポジトリの認知度が向上できる
- 学内の学術成果の生産・発信の好循環で機関リポジトリのコンテンツの充実へ
- 優れた取り組みの共有で日本全体のオープンアクセスの推進につながる